

目 次

< 巻頭言 > 中心市街地の衰退と今後の課題	2
中心市街地の状況からみた事例都市の位置づけ	4
事例都市紹介	9
-1 豊橋市 - 都心に市電が走る街 -	10
-2 豊田市 - 豊富な財政力によりつくられた都心 -	16
-3 春日井市 - 大都市に近接する住宅都市 -	22
-4 豊川市 - メガネ型の中心市街地 -	28
-5 半田市 - オールクリアランスにより駅前復権をめざす -	34
-6 西尾市 - 昭和のまちの、平成の困惑 -	40
-7 多治見市 - 市民と自治体が協働でつくるオリベのまち -	46
-8 桑名市 - 平成のまちづくりに挑む -	52
-9 碧南市 - 海と歴史が重なるコンパクトな街 -	58
-10 津島市 - 悠久の歴史が埋もれる町 -	64
-11 常滑市 - 住民の力でやきもの散歩道を生かす -	70
-12 高浜市 - 公民協働と福祉でまちづくりを推進する -	76
-13 田原町 - 今、最も新しい市「田原市」誕生 -	82
-14 西春町 - 春かおるアートのまち -	88
中心市街地の課題	
-1 地域力の向上につながる都市施策	94
-2 中心市街地における住宅供給の試み	96
-3 マンションの視点から	100
-4 高齢者の視点から	102
-5 歴史的環境の視点から ~ 古い道筋を生かし、歩いて楽しいまちをつくらう ~	104
-6 中心市街地と土地利用規制	106
-7 中心市街地と都市計画事業	108
-8 中心市街地活性化事業実施における課題	110

本レポートは日本建築学会東海支部都市計画委員会の中に設置した住宅部会で 1999 年度より取組んでいる「中心市街地の住宅施策を考える」をテーマとした活動を母体として作成したものである。同住宅部会では（社）地域問題研究所の研究助成金の交付を得て「東海地域の中心市街地をめぐる実験と活動の記録」を 2000 年 6 月にとりまとめているが、その後も東海地域の自治体を取り上げ、自治体職員から話を聞き、現地を歩き、意見交換をするという活動を行ってきた。日本建築学会大会が東海で実施されるという機会にこれまでの成果をレポートとして取りまとめようということになり、さらに都市計画委員会として取組んだ見学・交流会の活動も含め、メンバーで事例都市紹介を分担し、追加取材なども行いながら取りまとめた。

本レポートで取り上げた 14 都市はそれぞれ特徴のある取組みをしている都市であり、様々な教訓と課題を与えてくれたが、これらの都市が東海地方のすべてを代表しているわけではない。今後ともこの研究活動を続けていきたい。

（なお、2003 年 8 月 20 日に田原市が誕生しているが、本レポートでは田原町としてデータ整理等を行っているので田原町と標記していることをお断りしておく）